

Rev. 1 2014年6月10日

Rev. 0 2014年2月2日 筒井哲郎

凍土壁選定のいきさつ

番号	日付	主体	内容	資料	注
1	2013年 4月26日	汚染水処理対策委員会 第1回会合	東京電力は陸側約500m上流に「連壁」を設けることを提案している(資料3-1)。そして、鹿島建設が建屋直近に「凍土壁」を設けることを提案している(資料3-3)。	資料3-1 資料3-3	1 2
2	5月30日	汚染水処理対策委員会 第3回会合	委員会は凍土壁を選定した。その理由として、「凍土方式による陸側遮水壁により長期間建屋を囲い込む今回の取組は、世界に前例のないチャレンジングな取組であり、多くの技術課題もあることから、事業者任せにするのではなく政府としても一歩前に出て、研究開発への支援やその他の制度措置を含めて検討し、その実現を支援すべきである」と述べている。これは政府が出せる予算は「研究開発費」であるからそれに合わせるということである。	資料1	3
3	9月11日	資源エネルギー庁 入札公募「凍土方式遮水 壁大規模整備実証事業」	予算は136億円、締切日は9月24日である。技術仕様には次の記載がある。「平成25年度から32年度の8カ年にわたり研究開発を予定しています。…事業終了時点である平成33年3月末時点でどの段階まで達成するのか明記するとともに補助金対象期間である平成26年3月末時点でどの段階まで達成することを目標とするのか明記してください。」	平成25年度 「汚染水対策 事業」に係わ る補助事業者 公募要領	4
4	9月20日	日本陸水学会「凍土遮水 壁にかかわる意見書」	凍土遮水壁が不合理であることを述べ、その施工法採用に反対する旨の声明を出した。熊谷道夫会長名。	声明文	5
5	9月20日	IRID(国際廃炉研究開発 機構) 技術提案募集	「5.地下水流入抑制の敷地管理」に凍土壁施工を前提として、補完する工法を募集。締め切りは10月23日。	IRID資料 東電資料	6 7

6	10月9日	資源エネルギー庁	入札公募の結果、応札者は東電-鹿島JVのみであったので、同JVに決定と発表。	新聞記事	8
7	11月15日	汚染水処理対策委員会 第9回会合	技術提案募集結果の公表。合計779件の応募があった。	資料3-1 資料3-2	9 10
8	12月8日	丸井敦尚委員（汚染水対策委員会）の記事	凍土壁は一時的な仮設的性格のものである、という見解を雑誌に発表。	『世界』	11
9	2014年 3月～5月	東京電力	凍土壁実験実施。	新聞記事	12
10	6月2日	東京電力	凍土壁着工（陸側のみ）	新聞記事	13

注1. http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/130426/130426_02h.pdf

注2. http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/130426/130426_02k.pdf

注3. http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/130531/130531_01c.pdf

注4. <http://www.enecho.meti.go.jp/info/tender/tenddata/1309/130911a/1.pdf>

注5. <http://www.jslim.jp/>

注6. <http://irid.or.jp/cw/wp-content/uploads/2013/09/国内外からの技術提案・助言のお願い0925.pdf>

注7. http://www.tepco.co.jp/news/2013/1230912_5311.html

注8. 『日本経済新聞』10月10日

注9. http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20131108_01.html

注10. http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/131115/131115_01f.pdf

注11. 『世界』臨時増刊号「イチエフ・クライシス」P.49

注12. 『朝日新聞』『日本経済新聞』など 5月17日

注13. 『朝日新聞』『日本経済新聞』など 6月3日

